
「非小細胞肺癌の一次治療における免疫関連有害事象の発現と予後の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年1月1日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、非小細胞肺癌（扁平上皮癌、腺癌）と診断され、免疫チェックポイント阻害薬を使用し治療した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

免疫チェックポイント阻害薬を投与し、副作用（免疫関連有害事象）が出現した患者さんでは、その後の生存期間が延長するという報告があります。当院でも同様の傾向があるか調査することが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年3月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの検査データ、投与薬剤、副作用、診療記録などが内容となります。診療記録はカルテ番号を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である桑原 由樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

非小細胞肺癌と診断され免疫チェックポイント阻害薬を一次治療に用いた患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 桑原 由樹（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 桑原 由樹

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

Tel：049-228-3461 Fax：049-228-3461

電話：049-228-3461（土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：：ykuwa@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：非小細胞肺癌の一次治療における免疫関連有害事象の発現と予後の検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 桑原 由樹